

『Mind Charging』

第 99 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 8 月 29 日

ピーター・ドラッカーの名言



The only thing we know about the future is that it is going to be different.

将来についてわかっている唯一のことは、今とは違うということだ。

自分の人生を豊かにするための非常にシンプルでありながら胸に刺さる『ヒント』のような言葉です。将来というものは当然ながら今より先にあるもので、今とは違うなんてことは誰もが理解していることなのになぜこのような言葉を残したのでしょうか。

将来や、未来など、現在よりも先の時間のことに対して“待っていること”と捉えるのか、『来』という字を使っていることから、“やって来ること”と捉えるかでも違いは出てくるような気がします。基本的に誰かが待っているところに出向く時は、もちろん準備することもあると思いますが、待っている側が準備を整えてくれていることが多く、ある意味“気楽”な部分があると思いますが、逆にみなさんの自宅などにお客様の訪問があるという時は、掃除や飲み物の準備など、本題となる要件の他にもお客様が気楽に過ごしていただくための準備が発生します。私の中では後者の方が今回の言葉との繋がりを感じていて、将来を今とどのように違うものにするのかをテーマに今を過ごすことが重要だと考えています。

日々の生活の中でも些細ですができることはあると思います。一日先も未来です。明日から気持ちよく使えるように部屋の掃除をしたり、今日という一日を気持ちよく過ごしてもらうために元気に挨拶したりと、今よりも向上する未来を創造するために小さなことから取りかかっていくことが、やがて大きな素晴らしい自分の将来に繋がっていくのではないのでしょうか。自分だけでなく、大切な仲間と共に明るい未来を作り上げていきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ピーター・ファーディナント・ドラッカー (Peter Ferdinand Drucker、ドイツ語名：ペーター・フェルディナント・ドルッカー、1909年11月19日 - 2005年11月11日) は、オーストリア・ウィーン生まれのユダヤ系オーストリア人経営学者。「現代経営学」あるいは「マネジメント」の発明者。他人からは未来学者(フューチャリスト)と呼ばれたこともあったが、自分では「社会生態学者」を名乗った。父・アドルフ・ドルッカー(ウィーン大学教授)と母・ボンディの間の子で、義理の叔父に公法学者・国際法学者のハンス・ケルゼン(母方の叔母であるマルガレーテ・ボンディの夫)がいる。(Wikipedia 参照)